

社会福祉学部 アドミッション・ポリシー

■ 社会福祉学部

社会福祉学部では社会福祉学科と心理学科の2つの学科を設置し、いずれの学科においても 1) 社会環境との相互作用も含めて深く人間を理解することができる力、2) その深い人間理解に基づいて人々のより良い生活を実現するために必要な取り組みを構想・実行することができる力の涵養を目的としています。そのために、社会福祉学と心理学の学びを基盤としつつ、教育学、社会学、法学、経済学を含めた広く人間や社会に関わる隣接領域についても学びを広げていくカリキュラムを設定しています。

そのため、人間や社会に深い関心を持ち、また人々のより良い生活を実現させるために多様な視点から学びを得ることに高い志を持つ人の入学を求めています。

■ 社会福祉学科

社会福祉学科では、現代社会を生きる人々や自分が住み暮らす地域社会が抱える諸課題と向き合い、「多様性を認め合い、共に生きる社会の構築・実現」「地域社会の活性化・地域づくり」に資する人材の養成を目的としている。そのため、次のような人を求めている。

- AP1. 社会福祉学科において共生社会や地域づくりなどに関する学びに取り組むための知識・技能、思考力・判断力および文章読解力・表現力等において、高等学校等で修得すべき基礎的な能力を身につけている人。
- AP2. 人々の生活課題や地域課題に関心を持ち、多様なニーズや価値観を尊重しながら、社会福祉や地域づくりについて主体的に学び、他者と協働して課題解決に取り組む力を身につける意欲がある人。
- AP3. 現代社会における福祉課題や地域課題、教育課題、それらの背景にある社会構造的な問題に関心を持ち、人や地域の Well-being の実現に向けて、多様な人々・組織・地域社会と関わりながら学び、社会貢献と社会変革のための力を身につける意欲がある人。

■ 心理学科

本学科では、「学位授与および教育課程編成・実施の方針」に基づく教育を受けることができるものとして、以下に掲げる知識・技能、思考・判断・表現力等の能力、主体的な学びを目指す態度、幅広い領域への興味関心と探求心を備えた入学者を広く受け入れる。

- AP1. 高等学校等で修得すべき国語、英語や基礎的数学の知識・技能を有している人。
- AP2. 人間心理に関心があり、心理に関わる問題の解決と人々の幸福や福祉の向上のために他者と協働できる姿勢を持つ人。
- AP3. 心理的問題や障害を有する者に対し、人権尊重を持って関わり、その幸福や福祉の向上に貢献する意欲がある人。
- AP4. 人間心理に関し、論理的な思考法を学び、自らの考えを表現する意欲がある人。